



# DX推進計画

株式会社 種工匠土田

2023年7月1日 取締役会承認

# デジタル技術がもたらす影響



## 社会の環境

和菓子の需要が減る中で、廃業する同業他社が増えている

職人の技に頼りがちで、デジタル技術の活用が遅れている。また、設備投資のハードルも高い。

人材不足、職人の高齢化、物価高騰など、厳しい外部環境の中、事業継続には、デジタル技術の活用が不可欠。

## 自社の環境

業界や地域でのICT先駆者となり他社との差別化が図れ、顧客の満足度を向上できる

これまで継承してきた最中種の味を継続的に維持するために、ITを活用して、効率化、作業環境の改善、品質の維持を達しすることができる。

若手の採用、技術継承につながる。

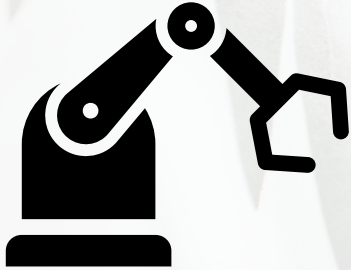
# DXへのビジョン

株式会社 種工匠土田 では、餡の旨味を最大限に引き出す、風味豊かな最中種(もなかの皮)を製造している。職人の高齢化が進み、人材の確保・技術継承が大きな課題となっている中、我々は、デジタルイノベーション(DX)を推進し、手作りの風味を保ちながら、ICTを活用した効率化を進め、事業継承、働きやすい職場環境を整え、伝統を継承することが最大のミッションと考える。



# ICT活用モデル

ロボット、自動機械  
などの導入



不良、味、温度管理など  
重要な項目をモニタリング



モニタリングしたデータ  
を分析し改善



# 具体的な戦略

フェーズ1

~2023

フェーズ2

2023 ~

フェーズ3

2024 ~

これまでの実績

- ・ 機械導入による自動化
- ・ インターネットの活用
- ・ 生産管理ソフト
- ・ ICT研修会への参加

2023DX計画

- ・ 生地製延切断機、自動供給装置等の導入
- ・ 焼成機の火力自動制御
- ・ データ分析による最適化
- ・ ICTの研修
- ・ セキュリティの研修

2024年以降

- ・ ロボット自動供給の検討
- ・ DX担当者の育成
- ・ 生産管理システムの更新
- ・ 書類の電子化

# チーム

